

# 大連事務所だより

公益社団法人宮城県国際経済振興協会  
大連事務所  
116001 遼寧省大連市中山区人民路 15 号  
国際金融大廈 13 層 C

No. 35 平成 31 年 1 月 23 日 発行

問合わせ先

目次	主な事業内容	1
	事務所トピックス	1
	中国現地情報	4

TEL : 86-411-8250-7426  
FAX : 86-411-8250-7439  
E-mail : gb-dalian@miyagi-dalian.com  
URL : http://miyagi-dalian.com

## 新たな一年を迎えて

平素より、宮城県国際経済振興協会の中国事業につきまして、御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
2018 年は日中平和友好条約の締結から 40 周年を迎え、4 月には中国の李克強國務院総理が日本を訪問、10 月には安倍首相が中国を訪れ、習近平国家主席と会談するなど、日中関係が大きく前進する一年となりました。  
本年もこうした流れに乗って経済や観光面での交流がより一層促進されるものと見込まれます。弊所でも引き続き中国で活動される企業・団体の皆さまのニーズに沿ったお手伝いをしていきたいと考えております。今後とも御支援と御協力をお願い申し上げます。

大連事務所長 林 香

## 主な事業内容

2018（平成 30）年 7 月から 12 月まで実施した主な事業を紹介します。

= 7 月 =

- ・大連空港七イベント開催（大連）
- ・日中地域間交流セミナー参加（四川省）

= 8 月 =

- ・知事・大連市長等表敬訪問（大連）
- ・東北観光トップセールス参加（大連）

= 9 月 =

- ・尚綱学院大学実習生来所（大連）
- ・遼寧省中日商談会参加（瀋陽）
- ・大連商談会開催（大連）

= 11 月 =

- ・FBC ものづくり商談会開催（上海）
- ・大連地方銀行ビジネス商談会参加（大連）
- ・日本大使館天皇誕生日祝賀レセプション参加（北京）
- ・J N T O 東北 P R イベント参加（瀋陽）
- ・海外（日本）旅行商談会参加（大連）

= 12 月 =

- ・東北スキーリゾート説明会開催（大連）
- ・J N T O 東北 P R イベント参加（深圳）

- ・東北観光推進機構旅行社セールスコール参加（深圳）
- ・Visit Japan Salon 上海参加（上海）
- ・吉林冰雪産業博覧会参加（長春）

また、次のような活動を行いました。

- 中国現地企業や関係機関等の訪問、来所対応
- 県内企業・団体のニーズ調査や情報収集提供
- 中国との交流促進のための資料翻訳や内容確認などの支援
- 労務関係などに関するセミナーへの参加

## 事務所トピックス

事業内容からトピックを 5 つ紹介します。

### トピック 1

#### 東北地方のトップによる観光 P R

8 月 24 日（金）大連市内のホテルを会場に、東北観光推進機構によるトップセールス事業が行われ、東北 6 県と新潟県、仙台市から知事・副知事・副市長らが参加し、観光プロモーションを行いました。

た。この事業は、台湾、香港に続き、今回が3回目となります。

宮城県からは村井嘉浩知事が参加し、大連市の郝明副市長、李景平旅游発展委员会主任等の中国側の出席者に対し、宮城県の見どころやグルメについて紹介しました。

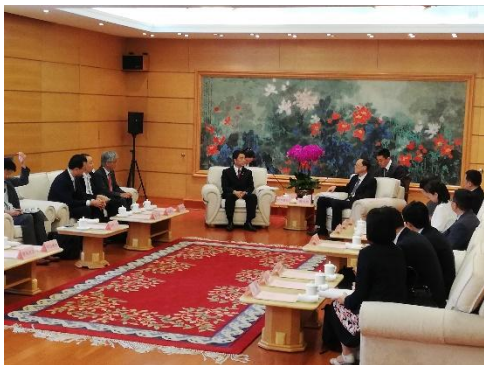


一堂に会した東北地方のトップ

また、これに先立ち村井知事は、仙台国際空港(株)の岩井社長とともに譚作鈞共産党大連市委員会書記、譚成旭大連市長を表敬訪問し、運航休止となっている大連-仙台便の早期再開への希望を伝えました。



村井知事と譚書記



譚市長への表敬訪問

8月25日(土)、26日(日)には、大連市内のショッピングモールにおいて、日本政府観光局(JNTO)による東北観光をPRするイベントが開催され、宮城県の観光マスコット「むすび丸」も登場しました。イベントでは、岩手県のさんさ踊りや青森県の津軽三味線なども披露され、東北地方の魅力を大連の市民の皆様にご覧いただき貴重な機会となりました。



むすび丸も登場

## トピック2

### 「大連商談会」を開催しました

9月21日(金)から23日(日)まで、大連世界博覧広場で開催された「第10回大連日本商品展覧会」に参加し、岩手県と共催で大連展示商談会を開催しました。

この展覧会は毎年多くの市民が訪れる一大イベントとなっており、今年は日本から364社が出展し、3日間で延べ6万人が来場しました。

宮城県からは6社が出展し、中国側の企業との商談や来場者への展示即売が行われました。

参加いただいた企業からは、「今後につながる商談ができた」、「消費者の反応を直接知ることができて有益であった」といった声をお寄せいただきました。



県内企業のブース



商談の様子

大連事務所では、商談会以外でも企業の皆さまからの御依頼に応じて商談先等を調査、紹介しております。今後も皆さまからの御相談に対応いたします。

### トピック3

#### 「天皇誕生日祝賀レセプション」に参加

11月21日（水）に北京の日本大使館において「天皇誕生日祝賀レセプション」が開催されました。

毎年開催されているこのイベントは、大使館主催ということで、北京の日本企業、中国政府の関係者、各国大使のほか訪日旅行を取り扱う旅行会社なども参加するため、宮城をPRする貴重な機会となっています。

大連事務所では、県が観光PRを委託している北京サポートデスクの和田所長と協力し、招待客の皆さまに宮城の魅力を紹介しました。

2018年は大使館のほか、広州、瀋陽の総領事館、大連の領事事務所が主催する天皇誕生日の祝賀レセプションにも参加し、宮城をPRしました。



招待客の方に宮城県をPR

### トピック4

#### 大連で東北地方のスキーリゾートを紹介

12月1日（土）大連市内のホテルを会場に、中国に事務所を構える岩手県、山形県、福島県と宮城県の東北地方4県の共催によるスキーリゾート説明会を開催しました。

大連は中国の東北部に位置することからスキーやスノーボードを楽しむ人も多く、会場には日本へのツアー商品を取り扱う旅行会社のほか、スキーの愛好家たちも数多く集まりました。

各県の担当者がそれぞれのスキー場の魅力を紹介し、宮城県からは鳴子、仙台、蔵王のエリアごとのスキー場をPRしました。

また、スキーを愛する県内企業の代表の方にも御参加いただき、宮城県をはじめ東北各地のスキー場の特色や魅力についてお話をいただきました。

大連では、日本のスキー場としては北海道や長野県が有名ですが、今後、東北地方にも多くのスキー客に来ていただけるようPRを継続していきます。



東北地方のスキーリゾートについて説明

### トピック5

#### 深圳の旅行社にセールスコールを実施

12月10日（月）東北観光推進機構の声かけにより、広東省深圳市の旅行会社に対して観光名所を紹介し、旅行商品の造成を働きかけるセールスコールが実施されました。

深圳市内にある旅行会社4社を訪問し、各社の訪日旅行商品の現状などを聞き取るとともに、東北各県の参加者が各地の見どころについて説明しました。

深圳の旅行会社からは、東北地方への旅行商品は日本に到着後の移動距離が長く、価格が高くなるのが課題であるとの指摘や中国では東北地方の魅力がよく知られていないこともあって、旅行商品化がこれまで進んでいないという意見が出されました。

一方で、旅行会社の中にはグルメや鉄道など特定のテーマを設定したツアーを実施しているところもあり、そうしたところからは今後、東北地方も含めた旅行商品を作りたいという声も聞かれました。

気候が温暖な広東省は、夏の避暑、秋の紅葉、冬の雪景色などが楽しめる東北地方への誘客が期待できる地域です。今後とも継続的な観光PRを展開してまいります。



旅行会社でのセールスコール

## 中国現地情報

### 中国のスキー事情

2018年韓国の平昌で開催された冬季オリンピックでは、宮城県出身の羽生結弦選手が2大会連続の金メダルを獲得するなど出場選手たちの活躍がまだ記憶に新しいところですが、次の冬季オリンピックは中国・北京で開催されることが決定しています。

この決定を受け、中国国家体育総局は、2025年までにスキー人口を3億人まで拡大するという目標を設定しています。

中国におけるスキー産業は2000年に節目を迎えています。

1990年代までは国内のスキー場は東北部の黒竜江省と吉林省などに50か所程度分布していただけでした。2000年代に入り、人工造雪技術の発展とともに2省以外の地域でもスキー場が開設され

るようになり、スキー人口も増加するようになりました。東北三省や北京、山東省などの中国の北部地域だけではなく南部の地域でもスキー場がオープンし、2006年には約200か所のスキー場が開設、スキー人口は400万人を突破しました。

その後もスキー場とスキー人口は増加を続け、北京での冬季オリンピックの開催が決まった2015年にはスキー場が568か所、スキー人口が1250万人と9年間で3倍あまり増加し、体育総局がスキー人口3億人の目標を打ち立てた2016年にはスキー場が646か所、スキー人口が1510万人、翌2017年にはスキー場が703か所、スキー人口は1750万人に達しています。

黒竜江省が昨年発表した報告によると、中国のスキー客の出身は北京が第一位であり、第二のグループは上海、ハルビン、吉林、第三のグループはウルムチ、瀋陽、長春、大連、広州、深圳と、北京や東北三省にも広くスキー人口が分布していることがうかがえます。

中国のスキー愛好家が選ぶ海外の目的地としては日本が最も多く、2016年は48%、2017年は55%を占めています。大連のスキー愛好家は、ゲレンデの雪質やスキーコースの多様さ・難易度などへの関心が高く、北海道や長野県などのスキー場が有名です。

宮城県をはじめとした東北地方にも、特徴のあるスキー場が数多くあることから、今後積極的にPRしていくことで、今後も増加が予想される中国のスキー客を呼び込むことができるものと考えます。

#### 編集後記

日本では既に新しい年を迎えておりますが、中国は旧暦の正月（春節）をお祝いします。2回お正月気分を味わうことができるので少し得した気分です。

2019年の干支は亥年。日本では猪＝イノシシですが、中国では「猪」はブタを意味しています。干支も亥年はブタ年です。日本に伝わった時にブタからイノシシに変わってしまったのが面白いですね。

(L X)